

洞峰公園市民説明会議事録

開催日時：令和5年(2023年)7月22日(土) | 開催場所：大穂交流センター

司会 それでは、これより質疑応答の方に入らせていただきます。

多くの方から御意見をお伺いしたいので、大変申し訳ありませんが、質問は端的にお願いいたします。

○Aさん

いろいろ、御説明いただいたのですが、要約すると結局、茨城県の Park-PFI が嫌だから、それを、阻止するために、引き取って、つくば市が、年間1億5,000万負担しますっていうお話なのですが、1億5,000万円をかけて、何が変わるかっていうと、今まで通りですって言われていました。いろいろ、こういった取り組みをしますってお話ありましたが、基本的には、今まで通りですって話だと思うのです。だからそれって、何のメリットがあるのでしょうかっていうのが非常に疑問です。なぜそんなに Park-PFI を潰さなきゃいけなかったのかがよく分からないのです。グランピングをやるから問題なのか、それだったら、ゆかりの森でバーベキューをやっていますし、あそこ(ゆかりの森)で何か問題が起きているのですか、騒音があるのですか、悪臭があるのですか、治安が悪くなったのですか、そんなことないですよ。だから、何のためにこれをやるのか全然分からないのです。今、最後、その修繕費も、今までもちゃんと出していますし、これからも大丈夫ですっていうのは、総合運動公園のときに市長さんも同じような説明されましたけども、そのお金をかける価値があるかどうかと思うのですよ。年間1億5,000万をあえて茨城県から引き取って受けるメリットって、何があるのか、全然分からない。Park-PFI を潰す意味は何なのですかということなのです。私が思うのは、つくば市の仕事っていうのは、より良い Park-PFI にしていただいて、いろいろ洞峰公園の所で不安に思われている方に、いろいろ御不安はあるかもしれないですけども、問題はないのですよっていうことを理解してもらおうとか、或いはもう少し何か心配する点を解消するような案に、茨城県に変えてもらった方がいいのですよ。そういう方向に持っていくのが本来の姿じゃないかなと思うのですけど。なぜそんなに Park-PFI を潰して引き取らなきゃならないのかっていうのを教えていただきたいと思います。

○回答

はい。ありがとうございます。当然の御質問だと思います。今、大きく分けると、おそらく費用の話と、Park-PFI についての話があったので、ひとつずつお答えしたいと思いますが、まず、その1億5,000万

という費用に限ってみれば、例えば、それは先ほど、お話をした学校プールですね、学校プールで、地域で利用できるようにする。その長期的な学校プールの大規模修繕費を考えると、これがおそらく全体で流すと年間で 2,000 万から 3,000 万ぐらい、おおよそですけれども、周辺の学校から計算（想定）するとそうなります。子どもたちが通うバス代はいくらかというと、千数百万だと思しますので、それだけで見ても、1 億 5,000 万というのは、10 数年あれば、十分に回収できる金額ですので、もし、金額のお話だけをすれば、そういうメリットがあります。Park-PFI をなんで潰そうとするのだということについては、私自身、これもよく記者会見でお話しているのですけれども、Park-PFI に反対しているのではないのです。研究学園のエリアでも、市でもですね、市が持っていた緑地をカスミさんが、民間活用の形で Park-PFI に近いものをやられて、今、非常に良い空間になっています。ですので Park-PFI をするにせよ、或いは民間の力が入るにせよ入るべき場所に適切な形で入るというのは、私は歓迎をする立場です。じゃあ、洞峰公園の Park-PFI 事業の中身がどうだったかということ、この都市の住宅街の中で、文教地区になっていて、そういう中（場所）に、当初、ビール工房であるとか、グランピングであるとか、そういったものが入ってきて、それは、これまで積み上げられていた、様々な環境が影響を受け、更に樹木もかなりの数、伐採をする計画がありましたので、その伐採をしてしまえば、先ほどお話したような、生態系についても、これは、本当にもう、もとには戻らないようになってしまう。そういうことを考えて、もちろんこれで、仮にグランピングのような形ではなく、グランピング、駐車場、プラスして伐採というのがセットになって、そういうものではないものにとというようなことを、もちろん我々もいろいろ、お話をしてきましたけれども、それは、その前の時点の県の会議、オブザーバーで出席した時も様々な心配点は伝えてありますし、そういう前からですね、なかなかこの施設をそもそもこういうものはつくれない場所ですので、できませんよということはお伝えしてきました。ただ、当時ですね、県の説明では、グランピングがないと収益として、この事業が成り立たないから、絶対やらずに駄目なのだというお話がありましたので、我々も、また別の Park-PFI であれば、ひょっとしたら良かったかもしれないと思っています。ただ、残念ながらこのプランに関しては、そういう交渉の余地が残念ながらなかった、ということが、今に至る流れですので、重ねて申し上げますと、費用面では、先程言ったように学校プールの足し算、引き算で、十分黒字になる可能性がある。そして、Park-PFI については、良いものであれば、私は、賛成ですので、決して、この Park-PFI を潰そうとしたわけではないですし、より良いものになるようにいろいろ相談をしましたが、県としては、それはできないという結論でしたので、では、市が引き取ることによって、この環境を守りながら、より良い形に活かしていこうというふうに考えました。

○Bさん

つくば市二の宮に住んでおります○○でございます。この問題2、3年前から五十嵐市長の誠実で、かつ、真摯な取り組み、もちろん市の皆さん県の皆さんの真摯な取り組みに対しては、本当に心から敬意と感謝をしております。言いたいことは、実はたくさんありますけれども、釈迦に説法ですが、さっき1964年から82年にあったと思うのですが、結局、つくば市というのが、その国の新たな研究学園都市として作っていきましょうということで、閣議で決定したところ、それから、つくば市ができて、筑波大学ができて、洞峰公園ができた頃っていうのは、経済環境も国力も全然違うのではないですか、なので、改めて、国政にしても県政にしても市政にしても何をやらなきゃいけないのか、個別、議論、いろいろあるにしても、これ本当に社会性ポワなのですけど、要は、民じゃなくて、官じゃないとできないことだけをやるっていう観点で、是非お考えいただきたいというふうに思っています。それから、何ていうのですかね人口オーナス（負担）の時代と明らかに違う。明らかに違って、今、もうほとんどの3,700の市町村のうち、ほとんどが人口オーナスの状況になっているわけですよ。幸い、つくばについては1割ぐらいの人口が増えているし、調べましたけどこの20年ぐらいみた時の人口増加等、つくば市の税収を含む歳入の伸びを見ると、多分、考えれば、プラスに効いているわけなので、それを追い風として、要は、この間、市長がおっしゃっていましたが、特別会計とかいろいろ1,000億の規模になると、それをどう配分するかって話だと思うので。確かにその修繕費がかかる懸念というのは、我々、tax payerとしてはもちろん考えなきゃいけないのですけども、そもそも、洞峰公園がある、いらんっていう議論が一番、最初になきゃいけないと、本来であれば、いろいろなステークホルダーからいろいろなバイアスのかかる意見もあるでしょうし、ノイズもあるかもしれないのですけれども、こういうオープンなディスカッションをする機会というのがすごく大切だというふうに思っています。最後は、もう民意しかないと思うのですよ。すべて100、0はないので、十分に議論を尽くして、本当に官なのでプロフィットセンターである必要はないと思っていますから、コストセンターとしてその公益性公共性の価値ある公園であるのか、その存続の必要があるのか、ないのかっていうのが重要な判断基準で、それがつくば市で例えば25万人の、その有権者のマジョリティですよ、半分プラス1でも、民意がプラスというのであれば、やるべきだし、-1だったら、多くの人が残念に思っても進めるべきではないって、やっぱり民主主義の原点に立ち返るような判断を是非していきたいと思えます。それからもう1点だけ県のアンケートで随分、その波紋を呼んだのだと思うのですが、今回、市のアンケートについては、アンケートって民間でもそうなのですが、いか

ようにでも解釈できるのですよ。本来、有識者だったらある問題に対して、どういう、その論理構成という、論述式のアンケートを本来はして、そのマジョリティを積み上げたいぐらいなのですが、実際そういうわけにはいかないでしょうから、その選択肢だとか、その解釈については十分お考えになっていただきたいということでもあります。

○回答

私自身は、つくばに生まれ育ち、つくばで今、市長の仕事を預かっている身として、もちろん様々なことを考えた上で、洞峰公園を残す必要があるというのを政治家として判断しています。ただ、それは、別に私の頭一つで考えたわけじゃなくて、これまでの様々なプロセスや、こういう歴史的な背景も含めて、私は、今、議員さん方ともコミュニケーションを含めてですね、必要だと考えていますが、もちろん、だからといって、私が1人で決められるものでは当然ないですし、ですのでこのような形で、皆さんと対話をする機会をいただいております、当然その民意という部分の究極の、表現の形は、市議会での議決というものになりますので、市民を代表されている議員の皆さん方にも当然、御理解をいただけるようにしたいと思っていますし、今、私の感覚では多くの議員の皆さんは、こういう洞峰公園の価値に対して、御理解をいただいておりますし、それは積極的か、或いは、やむを得ないよねという方、その温度感はかなり様々だと思いますけれども、大枠としてはですね、御理解をおよそいただいているのではないかなということを考えております。ただおっしゃるように、今日もそういう意味で各地において、ここと洞峰とそして荃崎・南のエリアでやるというようなことも考えていますので、そういう積み上げについてはですね、しっかりとやっていきたいなと思っています。

2点目についても、行政がやらなくちゃいけないことが何かということは、まさに非常に難しいテーマでして、例えば、私も先ほど申し上げたように、民間の力をもっと使いたい所は、基本的に考えているのですよね。ですので、例えば、まちづくり会社というのをセンター地区で作りました。これは市が出資をして、民間企業にも出資をしてもらい、スピード感を持って臨機応変、かつ、まさにこのプロフィットを生み出せるような形の事業をしていこうと思っていますが、もちろん、放っておいてプロフィットで生まれるような事業であれば、そもそも、勝手になっているはずで、それがなっていないから、行政が介入をして、そこで出資をして、何らかの流れを作っていくということで、今日もたくさんイベントをやられているということなのです。ただこれについても、逆に、それは市がやるべきじゃないか、そんな民間企業とかじゃなくてでも、市がやるべきだというお声もやっぱりあつたりするので、それは、正解がない話だと私は思っています。そういう声も一理があるかもしれないですし、でも、今までのつくば市の街の発

展を考えてきたときに、かなりの部分、国が作ってですね、県の皆さんが頑張っていて、URの皆さんが頑張ってくださいって、でも、もう次はないと思っていますので、やはり市が、民間部分に資する部分では、民が改善をする。民間で収益性が出せないけれども、守らなくてはいけない、次世代に伝えなくてはいけないという部分は、コストをかけていっても、それをやっぱり守るとというのが、私の市長としての考え方です。それについて、もし皆さんが、いやそうじゃないよ、と議会が否決されるのであれば、それは残念ですけども、仕方がないと思っていますが、ただちゃんと御理解をいただけるような努力をしながらですね、独りよがりにならないようにいろいろな話をいろいろな方からお伺いしながら進めていきたいなというふうに思っています。

○Cさん

最初の方の質問が非常に私は、的をえているみたいな。私も同じ。学校のプールの修繕が年間約 2,000 万から 3,000 万あるのだよと、で1億 5,000 万円は回収できるとそれからもうひとつ、学校のプールの設置をもっと、もう少し、詳しく。

○回答

例えばですけれども、洞峰公園の近くには、谷田部東中学校区、ここには小野川小と二の宮小と東小という学校があって、並木中学校区には並木中と並木小と桜南小があります。プールの大規模修繕というのは、大体 20 年程度で必要でして、例えば、これ、私が就任した少し後だったのですけれども、竹園西小のプールだったと思いますが、このプールがもう老朽化していて、子どもが、プールの底で足を切ってしまうというような事態がありました。或いは、その少し後にまた、別の場所で、これは路面の方でしたけど、プールの外の部分で、また怪我をしてしまう事態がありました。これは、もちろん管理として問題なわけなのですけれども、そういったものを小規模の修繕もそうですし、或いはもう根本的に、やはり、20 年、30 年経っているところというのは、大規模な修繕が必要になってくるわけですね。小さい学校であれば、最近、栄小ではですね、3,000 数百万円から 4,000 万かかりました。ですけれども、さっき言った、並木中でいうと、5,000 万ぐらいでできれば良いと思っていますのですが、残念ながら、どうもいろいろなものの設備を見ると、一番高い金額だと 1 億円ぐらいまでかかってしまうということです。それに加えて、当然、その日々の修繕費であるとかですね、そういうものがかかってくるので、これを何年でみるかということにもよりますけれども、例えば、それをもう 20 年で見たとときに、大規模修繕と、年間の維持管理費、水の代金というのを、足し算すると幾らであると、検討いたしました。この並木中の例えば、並木中のプール

の改修費が設計委託で、180万円ぐらいかかっている、改修が来年度やる予定で5,000万から1億という数字になってしまっているのですが、このプールの修繕サイクル、長く引っ張ったとしても30年ですけども、この20年から30年だとすると、年間で1校あたりですね、300万から、500万、1校あたりかかるので、7校行分のライフサイクルコストでいくと、年割りをすると2,100万から3,500万ぐらいかかってきます。そうすると、そのコスト、施設維持費も含めて、割っていくと、大体2,300万から3,700万ぐらいとなります。子どもたちがこの学校のプールを使うのをやめて洞峰公園のプールで、実施をするということになったら、当然バスだったらですね、バス代も結構かかります。これもどれぐらいの頻度でやるかっていうことにもよりますが、最大限見ると、バスが1,300万円ぐらいかかります。ですので、このライフサイクルコストで一番低い金額だとしても年額2,300万ですから、年間で大体1,000万円の黒字になる。15年で、3,600万円から3,700万円の数字にすると、年間で2,400万円ですから。7年ほどで、回収ができる金額が計算になると、あくまでも試算ですけども、シンプルに計算をして、そういう金額です。

○Cさん

学校の毎年の修繕費が、1億5,000万、年間の洞峰の維持管理に1億5,000万と、どういう関係なのか、それと、それと1億5,000万円回収できるとかですね。学校のプールの足し算、引き算というのは、私はどうしてもわからない。

○回答

当然、それはすべてを賄える計算ではないですから、それによって、年間の赤字額が縮減をされていくわけですけども、こういうふうにプラスの効果をうんでいくということを説明していきます。

○Cさん

洞峰公園でやったから、学校のプールの修理がいらなくなるわけじゃないですよ。

○回答

いや、いらなくなります。今、申し上げたようにプールは使わなくするということです。

○Cさん

例えば、プールを廃止して、洞峰公園のプールをつくるからそれを廃止して、その分、足し算、引き算だっという話ですか。

○回答

はい。これ、例えば、みどりの地区に新しく作ったのがその方式なんですけれども、今、作っている学

校も、今年、4月にオープンした学校も学校の中にプール作っていないのですよね。みどりの地区に今、学校市民プールというのを作っています。学校の授業はバスで子どもたちが行くと、それ以外の子どもたちが使わない時間に市民、地域の人たちが自由に使えるようにするというような仕組みを作っています、これも新しくプールを各学校に作るよりも、当然コストとしては抑えられる。学校プールの費用を新たに計上すればまた、大規模修繕以上の費用がかかりますから、それと同じような考え方をここでもしています。大規模修繕費が洞峰公園の1億5,000万以上だった場合に、それに相当する額の学校プールを廃止すると。1億5,000万すべてということじゃないですよ。そのうちの縮減効果を、それぐらい見ているということですので。ですので、ただ、赤字が増えていくという状況ではありません。

○Cさん

もうちょっと支援ということ考えた場合ですね。逆に1億5,000万、毎年10億5,000万の仕組みがあった場合は、幾らの一時金が調達できるのかってことを考えてみますと、今、非常に金利が低い時代ですから、これは正確にやっぱり年金原価で計算せなきゃなんないのですけども。大体、普通、会社は、20年で減価償却。元金に照査もしていますので。単純に0金利だとすると、30億円相談できる。

言いかえれば、ですね、実際、金利があるからそうではないのですけど。言い換えれば、30億円で洞峰公園を買うのと同じことなので。それから先ほどの、各学校のプールなのですけれども。毎年2,000万ずつかかるとなると、じゃあそれが無いのですけれども、その場合に、じゃあ幾らの、今、金利が調達できるっていうことを計算して、新しいプールを作る。どっちがどうかなのかとって計算するのが普通だと思います。だからそういう意味ではちょっと五十嵐さんの今の回答は非常にわかりにくいと。やはり資金ということを考える場合には、毎年、1億5,000万の支払いがあるっていうことは、環境下に何か20億になるかわかりませんが、金利を考えれば、ちょっと小さいのですけども。そういったお金でなると。そうすると最初の方の御質問であったように、そこまでお金をかけて、Park-PFIをやるのと違いというのはどこにあるのだろうか。ということだと思うのですよね。

○回答

高エネの時も〇〇さんにはお話をいただき、〇〇さんの御指摘からですね、融資の話とかいろんなお話がありましたが、現実の金融の世界はそうになっていないのかなと私は思っていますが、今、最初に申し上げたように別にPark-PFIを潰すとか、そういうことではなくて、総合的にそのコスト面と、そして洞峰公園がもっている価値、そして市民からの様々な声を反映して、今回、このような計画を御用意しました。これはもちろん、あくまでも御用意したわけですので、2番目の御質問の方にお答えした通り、もちろん

市民がそれを反対して、議会で否決されるのであれば、それは民主主義ですから、当然そういう結果になっていく。ただ、私は、今まで本当に 1,000 人を超える方のいろんなアンケートの声を読むと、非常にどれだけ、その公園の価値が大きく、それで市民にとって必要な場所になっている。そして、時には本当に、別にその公園の周りに住まわれている方、以外の方からもその価値を認めるお声をいただきましたので、そういうことを含めれば、私はこれを進めていくべき。当然そのコストを最小化するための努力は一生懸命いたします。

○D さん

詳しい説明ありがとうございました。それから県の方も来ていただいてありがとうございます。

それですね、そもそも、何のために洞峰公園を守るか、難しい。そのことをやっぱりみんなで考えてみたいと思います、共有したいと思います。私は洞峰公園の魅力っていうのは、何と言っても美しい緑と静かな環境だと思います。それでお話の中でも SDGs の話があったわけですけども。つくば市の持続可能都市ビジョンというのが、ありますよね。

この中で、恵み豊かな自然という言葉や、それをそうしたものがひとつの資産。自然というのは、私、美しい私達の地球の自然、茨城つくばの自然、大事な資産だと思います。それを未来の世代に継承して発展させていくという、私たちの代だけでこの環境を壊してしまった。洞峰公園を壊してしまったりするのではなくて、それを私たちの子どもや孫たちに伝えていくと。持続可能という意味はそういう意味かなと思います。自分たちだけでないのです。未来のこともやっぱり私達は大事に考えていきたい。そう思います。そして、ビジョンの中でこういう表現もあります。公正公平、人権平和等の普遍的な価値を尊重し、他者社会、そのあとですね、自然環境との関係性を認識しているのです。ですから、持続可能なこと、それをつくばに限らず、国連の世界の今の人類はそういう方向性に動いてきていると思います。お金のことだけじゃない経済のことではないわけではない。修繕や、それから私たちの生きる価値、生きがい、やすらぎ、そうしたものを大事にしていこうというのが私たちの狙いとなります。それがつくば市のビジョンでもあると思っています。洞峰公園というのはその方向性に沿った公園だとそれからつくば市 SDGs 未来都市計画。というのが、2021 年から 23 年までで現在進行形であるわけですけども。この中で、4つの方向性ですね未来像。魅力をみんなで創るまち、誰もが自分たちできるまち、未来をつくる人が育つまち、市民のために科学技術をいかすまちとなります。その中のとりわけ魅力をみんなでつくっていきましょうという中で、こういう表現がありました。公園の中にまちがあるような緑豊かなゆとりあるまち並み、まさにつ

くばの魅力じゃないでしょうか。洞峰もそうですけども、赤塚から始まって松見に至るまでペデストリアンがあって、それぞれの公園になっている或いは西大通、東大通、408 の並木道。これはやっぱり社会に誇る美しい環境です。これは私たちの人間の生きがいにとって安らぎにとってとても大事なものだと思います。洞峰はその中核にある、象徴的な公園だと思います。公園の中にまちがあるような緑豊かなゆとりある街並み、これは日本の中でもちょっと誇る魅力じゃないでしょうか。これは後世に残していくものだと思います。そして、2020年、それから、誰もが自分らしく生きるまちという中に、こういう未来もあります、筑波山や牛久沼の美しい景観や、豊かで多様な生態系により、多くの人々が自然の恩恵を実感しながら自然を守り育てる意識を持って生活している。洞峰公園を大事にするっていうのは、こういう私たちの願い、ヴィジョンに基づくものだと思います。そこで質問は、この洞峰公園を守るということの、つくば市のヴィジョン SDGs との関係で五十嵐さん市長の思い。を教えてくださいたいのがひとつです。それから、ここからちょっと意見になりますけども。総合公園という意味合いですね。総合公園という意味合いのことも参考になりました。周辺住民だけではない、つくば市全体のものである。もうちょっと広く考えれば、もともと茨城県の公園であって、つくば市だけじゃなくて、周辺の取手市だったり、牛久市だったり、水戸の方だったり、茨城県全体の人たちに共有していきたい。この美しい公園だと思っています。でも、つくば市だけで独占するようなものではないと、そもそもそんなふうに思います。それから、PFIをやらないことのメリットということで考えると、逆に皆さんと考えると、PFI やったらどうなってしまうということもぜひ考えたいと思います。それは大きなメリットです。もし、PFIをやってしまったら、グランピングをやって賑わいをやって、そこで多く人を呼び込んで、なおかつそのために駐車場を拡張して協議。説明で数百本の木を切るという当初の計画。がありました。美しい木を切ってしまう。資産を、美しい自然の資産を壊してしまう。そして、賑わいといって、静かな、本当に、緑豊かな静かな環境。人混みによって収益を上げるために、お金のために、それをやって自然を壊して、そのことがどんなにデメリットなのか、やらないことがどんなに、自然も豊かなこの公園を守っていくか。ちょっと金銭価値に換算できないものすごい価値のあることだと思っています。それは何十億、何百億、オーバーですけども、金銭に換算できない大きなメリットがあると私は思っています。

○回答

総合公園についてのちょっとだけ、大事なところなので。広域というお話もあったのですが、実はその総合公園っていうのは、ここでいうと、基本的にはつくば市全域というかですね。今、実際に他のエリアからいらっしゃっていると思いますけれども、やはり、もともとは、周りの市町村というのは、都市公園

法上では、つくば市全域が対象となります。今で言う、位置付けというのをちょっとお伝えができればと。SDGsについて、もう何か私の考えは、すべて、今、読み上げた方の中に入っているのも、あまりもう補足することもないのですけれども。持続可能都市宣言に書いたことで、非常に私が大事にしているのは、やっぱり我々は先人から引き継いで、今の環境を預かっているわけですね。預かっている我々がやはりその時の思いつきだけで、何かですね、その時の流行っていることとか時世とかですね、やってしまうと、これは、なかなかしんどいことになる。次の世代に責任を持って伝えていくことはできないということが非常に大きな問題だと思っているのです。これはいろいろ、政治経済の流れなんかでも、一時的な例えばトレンドで、もう全部、民営化すればいいという流行の時代がありました。1980年代頃、非常に盛んになった流れ、当時は、何でもいから民営化、民間がいいのだ、全部というものが、数十年前に流行ってですね、売却をすべきだとかですね、そういうことをやってきた時代。でも、今、世界のトレンドは逆にやっぱりそんなことしたら、守るべきものが守れなくなるのだなど。まさに〇〇さんの御質問にあった、行政は何をするのか、という部分も、境目が、当時はですね、かなり乱暴に、こちら側に触れてしまっていて、結果、そのひずみによっていろんな格差が拡大していくと、そういうふうになっているわけです。ですので、私は、つくばの市長として、先人たちが、そして茨城県の皆さんや地域の皆さんと洞峰公園に関する書籍をもちろんみましたが、本当に当時から、生態系の調査をいろいろな方がされ、そういう積み上げによって守られてきたものをやはり経営が厳しいから、もう全部、民間にということ、その生態系や、皆さんが積み上げてきたものがやはり崩れてしまうということは、私が、今の市政を預かっているものとして、やはりできないと思っており、ただ、そのコストを度外視というわけにはいかないので、これが、例えば1億5,000万じゃなく毎年、何十億だよと言われてたら、現実的に無理だと思う。だけど、今の市の財政状況等を考えて、学校のプールでも使うことで、少しでもそこに対して縮減をさせていくことというようなことを総合的に考えた上で、更に、私がこれからまたやりたいと思っているのは、協議会を作ってですね、そこで少しでもその収入を増やすことも、私は、これをやっていいと思っています。ただそれが洞峰公園というこの様々な設計思想を持った公園の思想に合う形での事業であれば、それはむしろ、積極的にやるべきだというふうに思っています。ですので、繰り返しますが、それがPFIだと言われれば、ちょっとわかりませんが。当然、Park-PFIという形になると事業者が完全に利益を出さなくちゃいけないですから、でもそうじゃなくて、市が、当面は市が管理するという形が考えられますけれども。その中でも、いろんな方たちから、いろいろお知恵をいただいて、その設計思想をいかしながら、収入面でもプラスなるのだろうねと、そして地域に住む皆さんも、そして、市内全域に住んでいる皆さんにとって

も納得感のある事業だろうねということは考えていきたいと思っていますので、先ほどから繰り返し出ている1億5,000万という数字は、そういうことをしないで、今のままやった、マックスの数字ということがありますので、そこを、この理念にきちんと反映しながら、私は、いい形で、次の世代に伝えていきたいと思っていますし、今回、すごくうれしかったのは、多くの方がちょっとさっきも言いましたけれども、そういうことなら、何か手伝うよと、ボランティアもやるよと寄付もするよと言ってくくださったことで、これは僕の知っている方たちはやっぱり多くそう考えられていて、逆にちょっと最後にこういう話を聞いていますが、例えばある議員さんはですね、もう絶対に反対だったのですね。そんなの県でやればいいのか、みたいな感じだったのですよ。そうか、この方は、反対なのだなあと思っていますね、それからしばらくして、その方にお会いしたらですね、考えをかえました。どうしたのって言ったら、洞峰公園に行ってきたと、今、お話されたようなことを自分の目で見て、そこで子どもたちや親子連れがゆったりしたり、高齢者の方が散歩をしたりですね、それこそいろんな森の中でいろんな活動をしているのを見て、もう真逆になってしまって、これは、我々が守らなきゃ駄目だと、議員として、絶対やんなくちゃ駄目だったんで、現地を知っている方とか或いは現地を見ていただくと、やっぱりあの環境と、私もキャンプ大好きですので、グランピングもグランピングはそこまではないのですが、でもキャンプは好きで、自然の中で別にお酒を飲むことも好きですし、そういうのはすごく好きなのですが、ただあの場所はそれじゃないよなということを、多分そこを見ている方たちは思っていて、ただ、そこを見ている方たちだけの言葉でそれを語ってしまっただけではいけないので、こういうことをしながらですね、この価値というものもお伝えしていくプロセスも持続可能な取り組みのひとつなんじゃないかなとそんなことではないかとすいませんちょっとお願いします。

○Eさん

今日、最初の方の質問に洞峰公園を一応使っているものとして、おそらくそういう御指摘があると。行政の立場と違うものとして、市長へのちょっとコメントという形で発言します。端的に言うと、自然の件でもいいですけども、あの公園というのは、有料で使っている人で年間、延べ27万人がさっきからでている、散歩をすることや、それから、通学路で子どもたちが使っています。それから保育で、最近、すごくつくば市に若い世代が増えてきて特に私立が増えて保育園が乱立しているのですけれども、やっぱり昔の或いはこの辺り。保育園と違って、園庭も狭いところも増えてきていまして、公園に園児を連れてきている保育園や幼稚園もいっぱいあるので。目が不自由な方が安心して、今日も、今朝もそうだったのです

けど、伴走のいわゆる方々のトレーニングで走られたりとか、何か本当に多様な使い方、プールと展示以外に、多様な使い方をしたり、朝からマンションの近くの公園では、ラジオ体操ができないので、お年寄りやいろんな人が集まってラジオ体操とかして、ある日、突然、公園に、すいません県の方には大変申し訳ないコメントになります。ポスターが数枚、張られて説明会とあって、そして、公園に空き地があるから、設ける前に言われました、とあって事業者の人が真っ白いグランピングをします。また、ビール工房もできる、昼からも飲めるようにしますっていうのが去年の5月に、それでみんなびっくりしてしまって。私もノンポリで本当につくばに20数年来て、筑波山にも行ったし、荃崎にも行ったし、本当につくばの周辺っていうか、自然が好きで、昼間、仕事をして週末になると、ゆかりの森にも行ったし、フォンテーヌにも行ったし、いろんなところに行って、大好きな土地だって、でもやっぱり洞峰公園っていうのは、日常ちょっと子どもといたり、それから通学路で使ったりって言う、そういう場所で、しかもかなりの数の人が年間50万から100万人の人が使っているのですけれど、そこが、すごく大きく変わるって言うことで地域がびっくりしたという。そして、非常に申し訳ないのですが、県の管理と知らなくて地域の人は、つくば市に最初みんなすごい文句を言った。そうじゃないのですよというところで、県の方たちも、おそらく去年の担当の方、毎日のようにつくばから県の土木部に電話がかかって大変だったと思うのですけれど何が起きているのか、どうだっていうことが話題になりました。実はそれをきっかけに、すごいノンポリで何も知らなかったのですが、地域も文句ばかりいっていてもしょうがないって、実は私は、ボランティア団体を去年の4月から始めて今朝も、みんなで、20人くらいで掃除をしてきたり、それから、絶滅危惧種の植物も生えているので、今、地域で自主管理公園の中のそれなりのエリアを自主管理もさせてもらったりとか、調査活動をいろんな学校の先生たちともやったりとかしたり、あと先週は子どもたちと一緒に木の観察会をやったり、そういう形で、まだまだ、ちょっとなのですけれど、やっぱり地域を大切にしたい。これはお金の話のことになると本当に申し訳ないなと思って。ただ、どの地域にも、筑波山など、その人たちにとっての心に残るような風景とか場所があると思うのですけれど、さっきの、そこに突然、知らない者がやってきて、しかも一番私がこういう行動を年とってから、やらなきゃいけないと思ったのは子どもたちが、子どもたちがとにかく嫌だって言っています。それから、つくばに移住してきた若いお母さんたちがこんなはずじゃなかったっていう声なんかいっぱい集まってきてしまったので、やっぱり何とかしなきゃいけないな。もう本当に県には、申し訳ないのですが、何回もそういうお願いに行ったのですけれども。いくつか聞き入れてくださったところあるのですけれども、県知事の定例記者会見等も御覧のように、基本的にはやります。

そこを変えていただけなかったのですね。なので、こういう結果になったのかなと思います。これがまた、白紙に戻ったらまた地域としては、県に対してアプローチをしていかなきゃいけなくって、頭が痛いところがありますが。そうなったときには、是非とも本当にその大穂のいいところにそういうふうなものがきた時に私たちも、今回、いろんなタウンミーティングとかも行って各地域いろんな問題があるってことを知りました。道路とかまだないとか、水道来てないとか、本当にすごい勉強になって、こういったそういうところにも足を運んできて、できることをしたいなっていう気持ちだけあって何したらいいかまだわからないのですが、そういう気持ちが今、私たちの周りができているので、これ、正直言って、五十嵐市長がやれない時や本当にどうなるかわかんない時もあったとは、思うのです。そういう時は、本当に、大穂の皆さんや北条の皆さんも一緒に考えて欲しいなと。つくば市のど真ん中にある木を切っちゃう。今も、葦原を切っちゃうって聞いたら、かなり汚い池になっちゃうのですよ。今も、もうかなりアオコがではじめているのですが、そうなった時って誰がどうするのって考えると、やっぱり、子どもたちに説明ができないのですよ。だから大人としての最後の責任として何かしたいので、ボランティアも去年、延べ 400 人以上、今年は、500 人から 700 人が関わっていくって、述べなのですけどね。そういうところなので。地域、すごい地域住民のエゴってとらえられるのがとても苦しいので、そこだけは御理解いただければなと思って。

○F さん

洞峰公園周辺に住んでいるのですが、今日は、小学生の娘のアクティビティーが筑波山のふもとであったので、こちらの方に、来させていただきました。

何かこういう話をする、感情みたいなものしか言えなくって今回、ちょっと、皆さんと市長におまかせするしかないというか、なんですけども。やはり、つくばは本当に、さっきの筑波山の方に行って、本当にいいところだなあというのを持っていて、日頃も思っています。南側の方にもちょっと 1 回、縁があるので、高崎自然の森など、本当に、良いところだなと思って、息子が 0 歳の時から暮らしているので、ほぼほぼつくばで子育てをしました。洞峰公園なんですけども、やっぱり本当に子どもが安心して過ごせる、本当にいい公園なのですよね。0 才の赤ちゃんから妊婦さんまで、年、年で過ごし方があって、すごく時間帯があって、中学生ぐらいになったら夜、暗くなってから部活仲間と過ごし、それが安心できる、すごくいい場所で、こういう公園があって良かったなって、本当に思っています。Park-PFI の話をやっぱり去年、聞いて、公園でお酒、公園で、どんちゃん騒ぎができちゃうの、やっぱりそういう、素朴な母目線の

やっぱり、嫌だになっていっているので、周りのお母さんたちともいろいろ話して、二の宮周辺、洞峰公園周辺じゃなくても、やっぱり、これはねって、という声がやっぱりいっぱいあって、実際、あの周辺だけじゃなくても、各方面からも、プールを利用しているお母さんもいますし、南側からもプールにいらしているお母さんが遊びにわざわざ、土日は行きますっていう人もいますし、やっぱり、このままであって欲しいなっていう思いを、また、市長にもお伝えさせていただいたのですけれど。それで、県の方や、長大さんって指定業者の営業所らしいですけど、やっぱり、もう本当に、今のままの洞峰公園があるためには、大井川県知事が、つくば市への移管という。それに、市長は、受け入れようと今、本当にありがたいなと思って。つくば市は、他にも校内フリースクールや総合支援とか年々、目に見えて子どもたちへの対応がすごく良くなってきていることを実感しています。やっぱり、本当、子どもたち、今、割とちょっと年配の方が多いのかなと思うので言わせていただきますが、本当に生きづらさをすごく感じている子どもたちがいっぱいいます。そういう子たちが、1人でも安心して伸び伸び過ごせる場があちこちにあるといいなっていうのが親の願い、子育て世代の願いです。そのひとつに洞峰公園は、すごくなり得る公園だと思います。先ほどの説明があったプールの話も家族が今、初めて説明を聞いて思ったのですけれど、もっと、もっとコロナ前は、ちょっと学校のスクールバスとかも洞峰公園にとまって活用をしている学校がいっぱいあったと思うのです。公立、私立関係なくあったと思うので、もっと、もっといろいろなフィールドワークのできる公園として利用して欲しいなと思って思いますし、本当、自由に過ごせる場、安心して過ごせる場として、あと質問いいですか。万が一つくばの市議会で、否決されるようなことがあった場合は、県に県の管理のまま。Park-PFIの再開っていう認識でよろしいのでしょうか。

○回答

そうですね一旦、今、県としては Park-PFI の事業止まっていますので、これちょっと苦しい。当然、ちょっとそれは何とも言いがたい。

○回答（茨城県）

私、県の都市整備課長をしています大塚と申します。

ちょっと、御質問を受けたことについては、正直、今ちょっと案は持ち合わせてないのですけども。今までの議論の経過ですとか、Park-PFIをどういうふうに、これからやるかっていうことも含めて、もう一度考え直すことにはなると思います。ただ、現状を申し上げれば、今、市長から話があったように、一旦、止めていますので、一旦、もう1回立ちどまってもう一度考えるっていうタイミングにはなると思います。ただちょっと今、移管を前提にすべて、今、いろんなことを進めていますのでちょっとそういう、段階に

ないってということで、ちょっとなかなか答えになってないので申し訳ないのですが、いずれにしても同じようにグランピングをやるかどうかということについては、もう1回、よく市の方とですね、協議をさせていただいて、どういう形がふさわしいかってことを当然やった上でやるということになると思いますので、それは御理解いただきたいなと思っております。ちょっと正直、その辺は何ともわからないところですが。

全体的な今の県の流れ、いろんなものが、今、民間に売却をするというような、方針になっているので。もうちょっとそれ以上は、もうちょっと少なくとも、これまでのプロセスでは、0か100かみたいな議論でずっと進んできましたので、グランピングも含めた Park-PFI。移管になったということは、1度も今までゆらいだことはありませんでしたので、普通に考えると、その流れなのかなという感じがします。ちょっとこれはすいません。はい。何とか移管に向けて頑張りたいと思います。

○Gさん

質問なのですが、今日は、市民説明会の周知についてです。洞峰公園に関する説明会の令和5年の7月20日、土曜日と同じく28日金曜日に3箇所、4回行われています。場所と回数がかなり少ないと一般的に思いますが、このような回数と場所で市民の意見を聞いたことになるのかどうか、ちょっと伺いたい。ふたつ目は、県と市と協議では、県民、市民の声をしっかりことで合意していると、伝えられています。7月7日に、ネットで知らされて、ほんの数週間ですけれども20日ぐらいで、説明会、しかもわずか4回。私たちの住む地域では、ほとんどの住民が、この説明会の開催を知らない状況にあります。特に7月22日、23日には、地域の祭り等の行事が多く、住民の方が、祭りに参加して、説明会に来たくてもこられない住民が多くいます。なぜこのような大きな問題になっている洞峰公園問題を、わずか4回、しかも地域の夏祭りが集中する日に設定したのか。大変申し訳ないのですが、いかかでしょうか、以上。

○回答

はい。説明会については、通常は、何かやる時には、その施設そのエリア等ですね、市役所と2箇所というのが今までは多くありました。ただ、先ほどお話したように、洞峰公園というのは総合公園で、市全域に関わる話なので、通常よりも拡大をして、南と北でもやると、さらに真ん中でも時間帯を変えてやるということをしました。周知についても、各公園施設などにも御案内をしていたということもやっていますが、こういうことを通じて、通常よりも、より多い形、より広い形で市民の皆さんの御意見を伺ったと思っています。一方で、それですべての御意見が伺えたか、これはあらゆる施策でそうなのですが、

意外と大きな事業が、あるわけですがけれども市にはですね、もっと桁が違う。ただそういう説明会をやら
ないケースももちろんあります。皆さんの御関心が非常に高いところですので、アンケートですね、この
後、実施をするという話をしました。これ設問の、作り方は確かに幾らでも誘導ができるのですね。何か
とは申し上げませんが、だから、どういう形であれば、今、市が取り組もうとしていることを正し
くお伝えをして、かつ、何かこう誘導的な設問にならないようなアンケートを実施したい。統計のチーム
が市にもありますし、専門家のアドバイスとかももらいながら、できるだけ正しく事実を伝えながらバイ
アスがかからないような設問を用意したいと思っていますので、是非、今日、すいません私も本当は、い
ろいろな祭りに行きたいのですが、いけないですし、ただ施設の空いている時間とですね、それから、こ
の今のいろんなスケジュールを見る中で調整しました。是非、周りの方にも、アンケート回答をしてよ、
というようなことを御案内していただければありがたい。

○Hさん

五十嵐さんお久しぶりでございます。今日のこの話も、洞峰公園にビール工房ができるとか、グランピ
ングの場所になる、樹木が伐採される、そういう話を聞いたものですから。五十嵐市長が大方これに乗っ
て、これで進めようとしているのかと、私はかつてほどには、頭が回らなく、高齢になって回らなくなっ
ていますので、情報もそれほど真面目に取り込んでいないということもあって、もしそうだとしたらとん
でもないことだと、こう思っています。今日の説明会を聞いて、場合によっては、ちゃんと意見を言わなく
ちゃ、そう思って、出席させていただきましたが、最初からずっと市民アンケートも含めて御説明いただ
いて、五十嵐さんがそう考えているわけじゃなくて、県がそう考えて提案してきたことに対して、市議会
やら、市民の声を聞いて、今こういう段階にきていると、そういうお話を伺いまして、大変、安心をした
のですが、それで時間ですので、提案的に御質問したいのですが、協議会を設置して、これからいろんな
角度から議論をして、より良い答えを見いだしていきたいというお話でした。私は、そのことを大変、賛
成ですし、その通りだと進め方としていいことだと思いますが、この協議会はやっぱりいろんな方面か
ら意見を聞いていただきたいと思いますので、規模としてはちょっと大きなものになるかもしれない。そ
して部会、分科会的なもので、それぞれ議論して、それを、ある時は全体が集まって、意見を出し合う、
こんな形の協議会にしていくようにしたらいかがかと、こういうふうに思いますので、市長のお考えを
伺いたいと思います。以上です。

○回答

協議会の形は、ちょっとまだ検討をしている段階ですので、今、どうというやつとはいえません。今、お話のように、これだけ見ても非常にそこから1人出すだけでも10人を超えますので、おそらく結構な規模になるのだと思いますので、やっぱり、どこまで、全体で議論するのか、それこそ具体的にするのかというのは、他の自治体でも協議会を作ったりしているところありますので、そういう、先行事例を学びながら、今、〇〇さんに御提案いただくようなことも、考えていければ、いいなと思っています。貴重な御提案ありがとうございます。

〇Iさん

9月議会に関連する予算とか、公園設置条例の改正を提案するという噂が伝わっておりますけども。市長も先ほど説明が少なかったとか、広報が少なかったと申しておりますけども。とても現段階では、説明不足、情報提供不足。ということは否めないのではないかというふうに思います。市長も常々、施政方針なんかでもですね。市民の皆様から御要望をいただいたり、或いは直接、御意見をいただいたり、対応を積み重ねていくと申しております。今回あんまりこうなんか、簡単に進めているのではないかというふうに思います。大変、将来負担の大きい事業でありますのでもっと慎重に進めていただきたい。と要望いたしたいと思います。特に、ネットなんかで、すますだけじゃなくて、より内容を知っていただくためには、多くの市民が目にする機会の多い市報だとかですね。かわら版なんかを通じてもっと情報提供していただければいいのではないかというふうに思います。ましてや、茨城県の方もおいでになりますけども。茨城県がバーベキュー施設等、有料施設というものを作ってですね、維持管理を生み出そうと苦労している公園でありますし。ましては、鹿島セントラルホテル同様に、大変、頭を悩ましてる公園だろうというふうに思いますので。そういうものをあえて、引き受けるということであると、なおさらの事、議会もそうですけれども、多くの市民の方に説明したり、議論したり、意見を聞いたりする機会をもっともっと増やしていただければというふうに思います。特に短期間の何というのですか、維持管理計画じゃなくて、これやっぱりもう老朽化してきますので、10年先、20年先を見据えた管理運営の研究計画ですか、そういうものを作って説明していただければ幸いです。あと何か、何ですかね、長寿命計画っていうのも何か作るっていう話も聞いておりますので、こういうものもきちんと情報公開をしていただきたい。それを要望したいと思います。

〇回答

はい、ありがとうございます。これまでも様々な形で短期間という話ありましたが、このプロセスです

ね、すべていろんな形で、これまで共有をしてきたと思っています。中長期的な修繕費は、この年額、約3,500万という数字がもう出した上で御説明をしていると思っていますが、もちろん、どれだけ説明してもなかなかあらゆる事業ですね、届かないっていうケースもあるというのは我々も考えなきゃいけないのですけども、やはり一番広く皆さんの御意見を伺いのが、アンケートの形だと思っていますので。是非、そのアンケートとかですね、いろんな方から御意見をいただいて、最終的には議会の皆さんにお諮りをしていきたいと思います。

○Jさん

最初の方の質問の危惧にちょっと気になったというのは、私も一応、去年、結構、実際、私、県の対応に反対したのですが、というのは、やっぱり、まず県の方が、今年の方は、先ほどかなり柔軟な事を仰ってましたけれども、去年のスタッフの方は全く何も聞こうとしていませんでした。去年は、もうこれでいくのだ、もう契約しちゃったのだからもうこれしかないの、多少計画が変わったことがあったのは、長大の方がちょっと何とか、さすがにこれは止めなきゃ駄目だなと思って聞いていたのだと思う。ですけども、そういうような変更あったけれどもちょっと県は全くもう、さっき100・0って話もありまして。そんなような状況で、これは、もう県は、全然余地がないなというふうに思っていたのと、それから、あと実際去年の県の方とかに聞いても、やはり県は、ほとんど洞峰の実態を知らなかったのですね、先程、市議さんがコロッと変わったって話もありましたけれども、全くその状況を知ってなくて、例えば、野球場がどれだけ使われているのか、使われていないのか。有料で使ってないと使ったことにならないとかですね、中でキャッチボールしているものを使ったことにしていないとか、例えばそんな状況で、何も本当、状況をちょっと読んでない。また業者さんの方も、グランピングが果たしてあんところで儲かるかって、みんな多分誰でも思うと思うのですね。朝になると、先ほども声がありましたけれども、ラジオ体操をしていることなど、大変な状況なのですけれども。そこで、もし、それで儲からなかったらどうするのですかというのを聞いて、私が聞いたわけじゃなく、ちょっとまた聞きなのですが、もういろんなことやりま、どんなことをしてもいいから儲けなきゃいけない、儲けますと。ちょっとそれ、何やるかわからないっていうことでその時に県が止めてくれないのだとしたらもう、洞峰はもう任せるから、もう、儲けなきゃいけないのだから、もう任せてくれるのだから県が止めなかったらもう何やられてもしょうがない。そんなことで、環境が良いっていうことは県のアンケートでわかっていたのに、明瞭に示されたのに、県の方がそれをちゃんとわかってないとか、はっきり言ってこれだと、どうしようもないなっていうのが、去

年、私が感じていたことです。そういう中で市の方で、茨城県知事がもうじゃ駄目だったら無償譲渡だよって言ったのでそれを受けてくださったのでよかったなというふうには思っています。あと、お金なのですけれども私もお金も結構調べましたので、1.5億っていたのですが、多分、そんなかからないのは多分間違いないで、まず、去年までも多分、やんなくてもよかったのですよね、多分。去年、4,000万円これまで、儲かっていたのに、県の事業でね、儲かっていたのです。業者さんたちも儲かっていたのに、それを入れてなかったら、それこそ、全部考慮しないで、知っていたのです、県は、県は4,000万儲かっているのを知っていたのに、いや、それでもPark-PFIなのだと言っていたというような状況が実際あったし、また、それからあと、ここでちょっと不思議なのは、まだ人件費は、これ、かなり積み上がっているのです、これ、多分プール代、プールを誰が管理をやるのかというところで、多分やって、こっちの方に積んでからだと思うのですけれども。ちょっとこれ多分積みすぎです、というのは、笠松が5,000万いってないのですよね、確か人件費。あんなにでかくてあんなに施設があって、20人で、洞峰が25人で、8,000万ぐらいだったのに、今度、社員を増やして1億近くになっていますね。9,000万。これちょっと、多分業者さんの積み過ぎなのです。これ、わざと積んでいると思いますので、わざと積んでいるので、ちょっと笠松の例をよく聞いてですね。どうやったらもうちょっと、もうちょっと何か節約、相当できるのだと思うので、その辺、市には良く、県の方もできれば、だから、多分、管理の方、違う課、違うと思うのですけれども、体育館の関係によく聞いていただきたいなど。最後に、すいません長くて、先ほどの方も言っておられました、協議会なのですけれども、私、御存知のように、温暖化関係ちょっと、いろいろ意見があって、生態系のことを先ほど、よく言われたと思うのですけれども、やっぱり地球温暖化対策っていうのは、これから非常に大事になって、先週末から荃崎でもそもそも、こんなことがあり、それから、後、今度ずっと暑い。これは、これからずっと続いてって。今日、ここにいる人、大体年寄り、なんて言っちゃいけないのかな。そういう人たちが、我々が大体、もう私も含めて、我々世代が主犯なのです。これを今日は、我々が若い人たち、今、20代、30代たちを共犯にしないように、是非、これから考えていかなきゃいけない。20代、30代の人でもそうだし、もっと若い人たちもそうだし、そういう人たちに良い地球を渡していかないといけないので、とにかく、地球温暖化がストップしなきゃいけないので、この洞峰公園をそういう場にしても、言っても、おこなっていただきたいと、協議会の中でも、そういったことを是非、やっていただきたいし、新都市記念館とか、ああいった場所をうまく利用して、うまく、そういう環境関係のせっきゃく環境を守るということで、洞峰公園を手に入れたと思っていますので、環境のための洞峰だということができるようにわかるように、形にしていなければいいなと思っています。以上です。

○回答

最初にちょっと申し上げて、一番、固く見て、一番収入が少なく、一番支出が多いパターンで計算をしていますので、圧縮の可能性はあると思っています。ただ、考え方、じゃないかって話になっているのですが、通常こういう計画は、できるだけ甘くみて、大丈夫ですよとかあって、あとから増えるのですが、それは、誠実ではないと思いますので、一番堅くみて、これぐらいの数字です。がいろいろ余地はあるのではないかなと思っています。本当にね、子どもたち、次の世代を共犯にしないというのはすごく大事ですし、だからこそ、今の我々の世代が責任世代として、責任ある施策をとっていく必要があるのだと私は思っていますので。本当に一つのこのまさに思想にあった部分。ここに書いてある本当、素晴らしいなど実は私思っていますね。こういうちゃんと思いつきとかですね、何かその場で何か考えたものではなくて、先ほどの方の話しました、ペデを中心として、この線状のアーバンコンプレックスを読んでいますけど、そこでしっかりとした緑をいかしながら都市軸を作ってきたということで、その都市軸が、やはり今回の Park-PFI の当初の計画に残念ながら、合致しないものになってしまいますし、更に木が本当に多く切られてしまうような計画でしたので、やはり子どもたちに何であるとき、止められなかったのだということになってはいけないと思いますので、頑張っていきたいと考えています。

○Kさん

今回のいろいろ、説明会ですね。洞峰公園でグランピングとかそういったものに対する反対。これがあつたからこういう、うん。それに対して、市と市長さんと、それから知事さんの間でどういった意思疎通、やりとりがあり、ここに至ったのか。先ほどの説明でいただきましたけれども、やっぱり今後ともやっぱり何ていうかな。当事者間のやりとりをもっと密にして、やはりより良い公園づくりをつくば市の公園にするのであればつくば市の公園です。県の公園であればこの県の公園としてこういう形で反映して欲しいということで、なんとか食い違いが起こらないようにやっていただきたい。

○回答

県の方と本当に密に連携をしながらやっていますし、鈴木県議が本当にいろいろな形で間に入って調整をしてくださって、大変な御尽力をなかなかね。そういうことを紹介する機会もないのですけれども、本当にここに至るまでお世話なっていました。

○Lさん

協議会をつくることは賛成なのですが、全員協議会の中で、無償譲渡も含めて議論されたわけですが、やっぱり皆さん、やっぱりよく相談の話があって、考え、もっと良い方法もあるのではないかと。先ほど女性の方がおっしゃるように、特にアンケートで値上げしてもいいから、環境を守ってくれと、それくらい強い、危機感があり、ただその一方で代理店の言い分は、もう1回ちゃんと事実として、当初は総合公園。外部対応ということではない。それで、ただ、現在、その20ヘクタールで1.5億円、年間配っている。半分が建物で、半分が緑地なのか、管理で7,500万。それで、その業務委託で、6,000万円を何とか増やしたい。年間9,000万円は県がこれやるのだからという。つくば市の予算はゼロです。というようなことであって、それにプラス今の〇〇さんの説明が非常に重要なそれが例えば議会で業者の方たちに対して議会で否決されたら本当に真っ暗になってしまうのではないかとというような御心配があったと思うのですが。僕は、消して真っ暗にならない。もちろんそこから考えたほうが、いいような気がします。それで、まずはですね、私、ひとつ思っているのは、今の洞峰公園って本当に自然公園としてあれでいいのか。私が思うのですが。年間7,500万の管理費って市の管理ってというのは、ちょっとクレイジーじゃないのか。あれはですね水戸の偕楽園とか金沢の兼六園ですか。庭園公園の管理をしているから、そんなにお金がかかる。じゃあ庭園公園って本当に生態系を大事にしているのかというと、そうではない。私はもう洞峰公園の昔の状態は、知りませんが。乙戸沼の状態を知っています。あそこは、今と全然違ってコケがあって本当に自然豊かだった。それに比べると今のそんな洞峰公園は、ちょっと自然だろうと思わない。洞峰公園だって、似たような状況だと思うのです。そうすると自然公園の管理をすれば、実はお金かからないのです。多分この3分の1から4分の1になる。造園業者さんにちょっと聞いてみたのですが、例えばこういう自然公園の管理をしたらどうだろうかと。自然公園と庭園公園の管理、どこが違うまず木の剪定はやらない。それから切ったり、干ばつで伐採したり何かそういう、刈った草も外にはださない。そうすると、持ち出す管理費はべらぼうに高いのですよね。そうすると、本当に自然公園の管理をすれば実は管理費って、半分しかかからないという話になると、ここで私は先ほどの柔軟な考え方もあるので、もっと、放置し、自然公園としてもよくなる。誰もわからない。県の財政負担も減るといえるのは、解決されていない。それを是非、じっくり考えてもらいたい。だから今、とにかく無償か何か、それで住民となんか聞いたら、いや、そんなに難しいなんて議論になっちゃってお互い同士がいがみあうと非常に不幸な結果になるので。やっぱりここはもう1回、むしろ議会の否決があれば、先が明るくなるんじゃないのですけれど、ここでこのままいっちゃうと、財政負担の問題で、1億5,000万、年間という小さくない。だから、それをやっぱり、もう1回、考え直して、自然公園って、お金かからないのですよ。何かいい解決を探してはど

うですかということをおさき申し上げた。

○回答

はい。貴重な御提案ありがとうございます。常に県と話をしていきますし、私も知事と話をしていきますので、いろんな形で、あるかと思いますが、今のところは、この形態で話を進めていくわけですが、当然そのプロセスで議員の皆さんにも御理解をいただくべく努力していきたいと思っておりますし、〇〇さんがおっしゃったように、その管理の仕方というのは、本当に、いろいろな工夫の余地はあると思うので、繰り返し、そのマックスで 1.5 億ですという話をしているのですが。それについては、協議会を作ってしっかり皆さんと色々な管理運営で、それが結果として、市民の主体的な参加に繋がるようなものにしていきたいと思っていますので、よろしく、お願いします。はい、すいません約 30 分オーバーをしてしまいました、いただいた御意見ですね、一つ一つ、また考えて受けとめて、確実に、いい方向に進めていきたいなということを思っていますので、これからもよろしくお願いします。どうもありがとうございました。